

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	国際経済論	不可

下記の文章を読んで、問いに答えなさい。

アメリカはサプライチェーンの強化策として、企業誘致などを通じて、半導体など重要産業における供給力の向上を目指している。すでに、台湾 TSMC（2020 年 5 月、アリゾナに 120 億米ドル規模）や韓国サムスン電子（2021 年 11 月、テキサスに 170 億米ドル規模）が米国への工場建設の計画を発表している。しかし、過去に多くの産業で生産の海外移転（オフショアリング）を加速させたことから、それに逆行する国内回帰（リショアリング）はコストなど経済効率性の観点から簡単ではない。

しかし、アメリカは中国を第 1 の競争相手と定義し、対中政策の重点を貿易から経済安全保障へと移し、サプライチェーンの強化策としての「フレンド・ショアリング」を新たな戦略として構想している。分かりやすく言えば、これは同盟国や友好国との関係を活かして、中国を排除したサプライチェーンを新たに構築する戦略である。

では、こうしたアメリカの政策・戦略は、近年中国との経済関係を強めてきたアジア新興国にとっては、有益なのかそれともリスクなのか、グローバルサプライチェーンの現状を踏まえて論じなさい。